

東電グループ初！海外でバーチャル PPA 締結！
シンガポールのデータセンターに、20 年間クリーンエネルギーを供給します

2025 年 12 月 4 日
東京電力ホールディングス株式会社

当社とアジア最大の不動産アセットマネジメント会社である ESR Group Limited (以下、「ESR」) ^{※1} が共同設立し、屋根置き太陽光発電事業を行っている特別目的事業体は、グローバルなデジタルインフラストラクチャ企業であるエクイニクスのシンガポール法人で、シンガポールの 5 拠点を含む世界 270 以上のデータセンターを運営する Equinix (Singapore) Enterprises Pte. Ltd. (以下、「エクイニクス」) と、バーチャル PPA を 2025 年 10 月 30 日に締結しました。

バーチャル PPA とは、発電事業者が需要家の敷地外にある発電所で発電した再生可能エネルギーの環境価値を、物理的な電力供給を伴わずに需要家へ提供する仕組みです。発電事業者が市場で売電した価格（市場価格）と契約価格（固定価格）の差額を精算することで、お客さまのより柔軟な再エネ調達を可能にします。

本契約は、最大容量約 10MW の屋根置き太陽光発電設備から発電される再生可能エネルギーと環境価値を、2026 年 7 月から 20 年間にわたりエクイニクスへ供給するものです。これにより、CO₂排出量を年間約 3,000 トン削減できる見込みです。本件は、東京電力グループとして初めての海外におけるバーチャル PPA となります。

当社は、100%子会社である TEPCO Global Energy Pte. Ltd. を通じて、引き続きバーチャル PPA 等の柔軟な手法を活用し、再生可能エネルギーソリューションを提供することで、お客さまのクリーンエネルギーの導入を支援するとともに、カーボンニュートラルな社会の実現に貢献してまいります。

※1 ESR Group Limited : ESR は、アジア太平洋地域におけるニューエコノミー分野の不動産資産のリーディングオーナー兼運用会社です。物流不動産、データセンター、インフラを中心とし、投資家・顧客・地域社会のサプライチェーンを支えています。完全統合型の不動産ファンド運用・開発プラットフォームを通じ、グローバルな投資家ポートフォリオに価値と成長機会を創出します。オーストラリア、ニュージーランド、日本、韓国、中国、東南アジア、インド、さらに欧州において、顧客の目標達成を支援する先進的なスペースソリューションを提供しています。ESR のパーカスである「持続可能な未来のための空間と投資のソリューション」に基づき、地域社会が世代を超えて発展し続けるよう、持続可能かつインパクトのある事業運営を推進しています。 (サイト URL : <https://www.esr.com/jp/>)

以上